

.....編集後記.....

◆地質ニュース500号記念号をお届けします。口絵にもありますように地質ニュースの歩んできた来し方を考えますと、編集にたずさわった諸先輩はもとより著者の方々・読者の方々皆様のご協力の賜物であるという感を深くします。

◆地質ニュース発行の大きな目的の一つは、地質調査所の研究について広く知っていただくこととありますが、同時に地質調査所そのものについても読者のみなさまに広く知っていただきたいと思っています。そういうわけで今月号の特集は「地質調査所とは？」という題でお送りします。地質調査所の現状について理解を深めていただければと思います。

◆さて、本特集のもう1つの狙いは地質調査所の将来像を描く縁になればということとです。現在地質調査所の機構改編に向けて議論百出の状況です。所内外からの提言に対して、また時代の要請に答えて21世紀の地質調査所はどうあるべきかを私達ひとりひとりが考えるべき時でもありましょう。佐藤所長からは将来の地質調査所像について特別寄稿をいただきました。あわせてみなさまの参考になれば幸いです。

◆地質ニュース500号発行に際して、地質調査所OBの大嶋和雄氏に巻頭エッセイで祝辞をいただきました。

た。また、地質ニュース創刊の頃から長年にわたって地質ニュース編集に携わっていただいた廣山禎子氏にはその創刊の頃について貴重な写真とともにご紹介をいただきました。

◆平成7年度の地質調査所所長賞を受賞された地球化学グループの標準資料についての紹介を今井 登氏にお願いして寄稿していただきました。またに地質調査所が研究組織として行うべき地道であります重要な研究が受賞されたことは喜ばしいことです。

◆さて、先年度は地質ニュースの一層の発展を期して、様々な改善策を論議してまいりました。編集委員会の改組など一部は実行いたしました。編集・印刷についての具体的な取り組みは、諸種の事情から残念ながら実施にいたりませんでした。今年度はその具体化に向けて早めに進捗させたいものです。

◆なお、本年度より編集委員長が交代します。地質調査所では、広報・情報化に対応して統括調査官制度を導入し、より一層情報の発信に力を入れようとしております。地質ニュースの編集も同調査官室で行うこととなりました。皆様方の今までの御協力を感謝するとともに、新たな編集委員会に更なる御助力をお願いいたします。

<加藤禎一>

地質ニュース編集委員会

委員長：有田正史

副委員長：石井武政

幹事：佐藤興平・今井 登・村上文敏・中島 隆・大熊茂雄

顧問：林 暉・石原舜三・大嶋和雄・高橋 博

事務局：総務部業務課広報係（山崎 浩・谷田部信郎）

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3504

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

地質ニュース	第500号	1996年	4月号
	定価	¥770	〒実費
1996年4月1日	発行		
編集	工業技術院地質調査所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者	林 光生	
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8		
	Tel. (03)3265-0951(代表) 〒102		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		
印刷	小宮山印刷工業株式会社		

©1996 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター 本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。